

Title	古代文字の類似
Sub Title	
Author	間崎, 万里(Masaki, Masato)
Publisher	三田史学会
Publication year	1933
Jtitle	史学 Vol.11, No.4 (1933. 2) ,p.58(564)- 58(564)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Journal Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19330200-0058">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19330200-0058</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 古代文字の類似

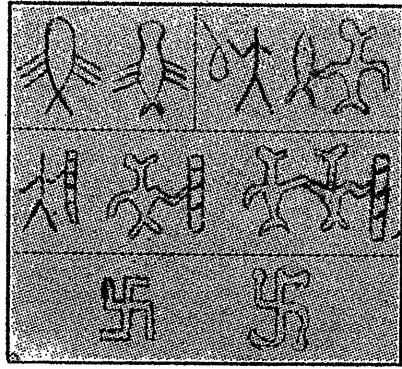
類似せる記號が古代文化の關聯を明かにする手掛りとなることが少なくない。

『ロンドン・タイムス』週刊(一九三二年十二月一日號)所報によれば、クリートのクノスス王宮發掘者として著名なるサー・アーサー・エヴァンズ氏はこの程イギリスの Hellenic Society に於て、最近の研究を發表し、クノススのミノア文化がギリシャ本土と東地中海沿岸に影響を及ぼせることを一層明かにし、シリヤのラス・シャムラ(本誌十卷一號二八頁の地圖參照)の附近に於てシェファア教授の發掘せる『王墓』の構造がクノススに近きインパタの『王墓』のそれと一般的性質の同一なることを示し、ミノア王家の後裔がシリヤ海岸の重要な分營に君臨したことを推測せしめたが、更に重要な發見がギリシャ本土に於けるクリートの分營に於てもなされた。

それはテーベの Cadmeia に於ける A. D. Kernanopoulos 教授の發掘に基づくもので、その土器の彩色記號はクリートのそれと著しく類似してゐる。同所に於ける書體が同じばかりではなく、その用語すらも同じであつて、更に之がチリンス、ミケネ等の同種土器の記號との比較研究によつて、一つの文化系統が明かとせられつゝある。更に興味ある記事が Sir Denison Ross 氏によつて『タイムス』(同年九月二十九日號)に寄書せられてゐる。

それは探検家にして支那學者たるポール・ペリオ氏の同年九月十六日フランスの學士院金名及び文學部への報告であつて、既に西村眞次氏(その世界古代文化史二三二—三頁)や松本信廣君(本誌十一卷二號三一〇頁及びその古代文化論三〇頁以下)その他諸氏によつて注意を喚起せられてゐるところのモヘンジョとハラッパに於けるサー・ジョン・マーシャル氏の發見せる古代印章の記號に關聯せる新發見である。

是等の記號の解讀には幾多の異論があつて決定しないものであるが、スメルスの印章上の文字との一致は前三〇〇〇—二五〇〇年間に兩所の密接なる交通關係を確立するに至つたものである。



こゝで報告しようとするのはバリ在住のハンガリー人なる一學者 Guillaume Hevesy 氏の顯著なる發見がその文字の起源に關し新聞題を提起したことである。それは約六十年前前にフランスの宣教師 Fyraud 師が南太平洋上のイースター島で發見した不可解なる書體と是等の文字が極めて著しく類似してゐるといふことである。ペリオ教授はエヴェンジー氏の發見を報告して最も類似せる例證百三十個を示すことが出來た。我等はお寺の印に用ひてゐるが、ドイツのヒットラーの國粹社會黨ではその徽章となつてゐる出字すらもその中に含まれてゐる。こゝに掲げたものはその一部であつて、左方の各組はインダス河の文字、右方のそれはイースター島のそれである。(間崎万里)